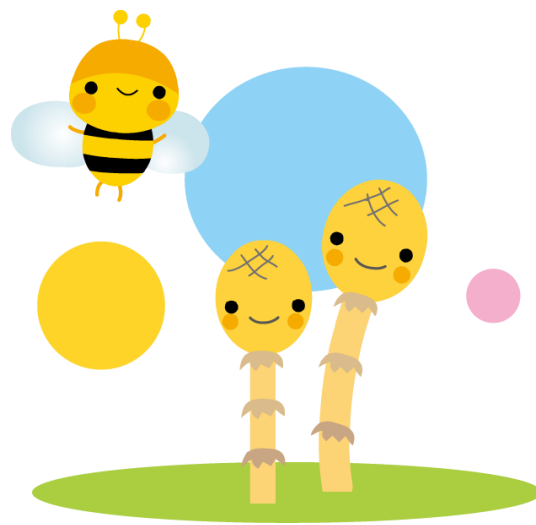


市民と市長の対話集会

第148回

タウンミーティング記録集



令和4年4月23日(土曜日)

会 場 久米川ふれあいセンター

時 間 午前10時～正午

東村山市

○開催内容

令和4年4月23日（土）午前10時、久米川ふれあいセンターにおいて、「タウンミーティング」を開催いたしました。7名の方にご参加いただき、ご意見を伺いました。

○会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、7枚を回収しました。

・アンケート回答者の住所地

久米川町	2人
恩多町	1人
諏訪町	2人
その他市内	2人
合計	7人

・年齢

20代以下	0人
30代	0人
40代	1人
50代	3人
60代	2人
70代	1人
80代以上	0人
合計	7人

・性別

男性	7人
女性	0人
合計	7人

○開催情報

●対象 北部エリア（廻田町・多摩湖町・諏訪町・野口町）

●申込み 申し込みが必要です。市報や市ホームページ等を確認のうえ、お申込みください。

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール：kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
令和4年8月6日（土）	多摩湖ふれあいセンター	午前10時～正午

タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

【市長あいさつ】

皆さま、おはようございます。東村山市長の渡部尚でございます。

本日は大変お忙しいところ、第148回目のタウンミーティングにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また常日頃、市政推進にご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げる次第であります。

令和4年度に入りまして初めてのタウンミーティングということになります。新型コロナウイルスが発生して以来、なかなかこうして地域に直接お邪魔して皆さまのお声を聞くことが叶わず、断続的に行っているというような状況でございますが、本日は久しぶりに久米川ふれあいセンターで開催をさせていただきます。

本日は若干参加者の方が少ないので、じっくりとお話を承らせていただければと思っていますところでございます。どうぞよろしく願いいたします。

先に現在の市の状況等を簡単にご報告させていただきたいと思えます。まずは新型コロナウイルスの状況でございますけれども、当市でも1月下旬から3月上旬までは100名を超える新規感染者がいらっやって大変な状況でございましたけれども、4月に入りましてこのところは感染者数も100名までいくということとはなくなっていて、多い日で70名程度、少ない日では30名程度ということになっています。とは言え、まだまだ油断ができる状況ではございません。

感染されている方の年齢構成を見ますと、大体10代以下のお子さん、それから壮年の方が全体の約35～40%を占めておりまして、お子さんや10代の若者の感染がまだ多いという状況でございます。一時は市内の小・中学校でもコロナの感染による学級閉鎖等があったのですが、今週に入りまして子どもたちの感染もだいぶ減ってきている状況で、私が承知している限りは木曜日と金曜日は市内でコロナによる学級閉鎖をしている学校は今のところなかったというように承知いたしております。

コロナ感染の切り札と言われておりますワクチンの接種につきましては、昨年皆さまにも大変ご理解・ご協力をいただき、大勢の市民の皆さまに接種をしていただきまして、今年の1月下旬からは3回目の接種を行っているところで、既に接種された方も大勢いらっやると思えます。

65歳以上の方につきましては既に90%近い方が3回目の接種を終えていただいておりますが、年齢が下がるにつれて接種率も下がる傾向がありまして、昨年1・2回目の時には一時期ワクチンの供給量が少なかったことから予約が取れないということで市民の皆さまに大変ご迷惑をおかけしましたけれども、今回3回目のワクチン接種についてはむしろ予約枠が埋まらないという逆の現象が生じております。

私どもとしましては、やはり12歳以上の方についてはできるだけ3回目の接種をしていただくようお願いをさせていただいているところでございますが、3回目の接種は言われ

ているように副反応が結構強く出る傾向がございまして、発熱や腕の痛み、全身のだるさ等が言われております。そんなことも影響して、なかなか若い世代についてはワクチン接種が進んでいないという状況です。

しかしながら今後、大型連休も控えておりまして、大きな連休等を挟みますとまた感染者が増える傾向が当市だけでなく全国的な傾向としても言われているところでありますので、できるだけ若い方にも接種を呼びかけさせていただいて、今後いわゆる第7波と言われる状況が起きないように努めてまいりたいと考えているところでございますので、ぜひご理解をいただければと思います。

その他はご質問をいただきながらお答えさせていただきますので、限られた時間ですけれども、有意義なタウンミーティングになりますように、ご理解・ご協力をいただきますようお願いして、冒頭、私からのご挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。



【会場でのご意見】

～ まちの価値の向上 ～ について

◆カーブミラーについて

(久米川町 Fさん)

以前タウンミーティングに参加させていただきまして、その時に「カーブミラーの向きを変えて欲しい」と発言しました。なぜそういう発言をしたかというのと、7、8年要望しても全然向きを変えてくれず、ずっと見つらいままだったので、その旨を説明しまして、帰り際に市長さんに現場を立ち合いしてもらいました。「確かに見つらいのかな」という感想だったと思うのですけれども、その後1週間ぐらいしてから市の職員がきて、そこでいろいろ協議したところ、向きは変えてもらえたんです。それで良くなるのはいいのですが、果たしてそれで良いのか。私がこういう場に来て、直接、市長に訴える。そうすると実現するのか、と。本来あるべき姿ではないと思います。カーブミラーの向きなんていうのは、市長にどうこう言うべき問題ではないと。市長はもっと上の立場から見べきであって、わざわざそんなことを市長に言う必要はないはずなのです。にも関わらず、市長に言ったら実現できたというのは、あまり好ましいことではないと私は思いますけれども、市長はどう思うのでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

役所としても向きの問題は自治会要望として挙がっている部分で承知しておりましたけれども、Fさんに言われて私も現場を現認して、そこで私はやや向きを変えた方が良いという判断をしました。それでそのことを所管に伝えたという経過であります。

タウンミーティングでお話をさせていただくというのは、市役所という組織のトップに直接、課題や問題を認識させるという効果はあるわけで、私に言ったから変わるということではなくて、やはり市役所全体としてもう一度問題を再認識したというようにご理解いただければよろしいのではないかと考えております。当然ここで言われたからと言って全部ができていくわけではありません。

向きの問題は複雑で、所管の見解としては向きをあまりいじってしまうと車が見つらなくなるとか、あまりにもミラーに頼りすぎてしまって逆に事故が増えてしまうとか、市役所の中でも意見をキャッチボールしながら自治会長であるFさんのご意見も踏まえてもう一度確認をして、それで所管としても現場で多少向きを変えた方が良いのではないかと判断をしたのだと考えております。そういう意味でいえば、自治会要望も大事ですし、タウンミーティングで意見を言うっていただく部分も非常に重要で、「市長に言わないと物事が動かない」というわけではないと考えていただければと思います。

◆カーブミラーについて（その2）

（久米川町 Fさん）

自治会の役員をやっている、市役所の担当者から市の管理しているカーブミラーを自治会の方で管理してくれという話がありました。このカーブミラーは市道と私道の交差するところに立っていて、担当者が言うには「私道のためにあるのであって、市道を通る人にとっては意味がないので、不備があれば修理してから移管します」ということでした。「市道を通る人にとってこのカーブミラーは必要がない。私道のためにある。」という言い方でしたが、そんなことはないはずです。市道を通る時に脇道があれば、ここから出て来ないかミラーを見ますよね。市道を通る人にも必要だというのが私の認識です。こういうカーブミラーが久米川町3丁目に12個あって、移管してくれないかと市から投げかけられて、これは久米川町3丁目だけの問題ではないと思いましたので、久米川町1～5丁目の自治会長に集まってもらって協議したところ、やはり皆さんそういう意見でした。この脇道が行き止まりの道路だったらその道に面している人だけが使うというのはわかるんですが、私道というひとくくりで言っているの、指摘のあったところで市道から市道に抜けていく道路もあるのです。一般車も市役所の職員も通っている道路で、そこが私道なので私道の人しかカーブミラーを使わないと言うのです。そんなことを言うから「私道をタクシーが通っちゃダメ」だとか不動産会社が道路を買ったために「通行料を取ります」とか、つまらない問題に発展するんですよ。「それは市の総意か」と聞いたら「そうだ」と。ということは、市長の考えだということになる。そんな勝手なことを言われても私どもの自治会では受けることはできません。もっといろいろな意見を聞いて話が出てくるならわかるけど、いきなり来てそういう話が出てきました。その辺を市長はご存じでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

カーブミラーにつきましては、私の記憶では私道の出入り口にカーブミラーの設置要請があっても、東村山市はカーブミラーを市では設置しないというのが基本ルールで、私が市長になる前からずっときています。ただ、どういう理由かわからないのですけれども、かつて私道の出入り口に設置していたカーブミラーというのが市内各所に相当数あって、市が設置したのか、あるいは事業者側が設置をしてそのあと市の方に移管されたとか、いろいろなケースがあるようなのですが、古い話なのでいつ誰が設置したのかというのがわからない状態になっています。

仮に通り返りができるような私道であっても、基本的に新規では私道の出入り口に市の方でカーブミラーは設置しないというのが基本原則で、今は私が市長なので私が最終決定をしているということになります。私が市長になる前からそういうルールでやってきたということなのです。

ただ、私道の道路を舗装する場合につきましても市の方から補助金が出ているので、ここ数年、議員さんから「自治会等でカーブミラーを設置する場合にもそのようなかたちで補助を出したらどうだ」と言われておりまして、市としても数年前から自治会、あるいは自治会という組織でなくてもその沿道に住んでいる方が私道の出入り口にカーブミラーを設置する場合に申請をいただいて、その場所に必要だと判断すれば公道上にカーブミラーの設置を認めて、市の方で1/2は補助金を出しています。ただ、その後の管理につきましては、設置

した自治会等で管理をしてくださいということになります。それで、所管としては今まで市で立てた、あるいは市で管理している公道上にある私道の出入り口のカーブミラーについて、自治会さんの方で管理していただけないかというお願いをさせていただいているのだというように承知しております。

ただ、「今まで市で管理していたのになんでいきなり自治会で管理しなきゃいけないんだ」というのもごもっともなお話なので、今後、公道上にある私道の出入り口のカーブミラーの取り扱いにつきましては持ち帰って庁内で十分検討したいと考えております。お話を聞いて、おっしゃられるように道路によっては市道利用者にとって必要な部分も当然あると私自身は思いましたので、そこも踏まえて今後どのようにしていくか検討させていただきたいと考えております。かなり古い経過があるのですぐに結論が出せるかどうかわかりませんが、カーブミラー問題というのは結構大きな問題だと思っております。

ただ、公道から公道に抜ける道路につきましても要望があれば全部つけているかと言うと全部つけているわけではないのです。これはお金の問題ではなくて、カーブミラーをつけるとかえって危険があるというケースも実はございまして、見通しによっては車は確認できるけれども歩行者や自転車の方が確認できず、カーブミラーだけ見て出ていくとかえって危険だというようなところで判断をさせていただいたり、あるいはカーブミラーを立てる場合にある程度の道路幅がないと危険になってしまう場所もありますので、公道上でも全部の交差点につけているわけではありません。やはり設置について一定の基準をきちんと定めて、それに基づいて安全施設としての役割を十分果たす場合に設置するような考え方で一回整理をしたいと考えております。

◆東村山の魅力について

(恩多町 Sさん)

先々週のバラエティ番組で東村山市の特集があったが、東村山は多摩湖の堤防しか名物がないのかみたいな話になってしまったので、その中で市長さんが言っている「子育てするなら東村山」とか「住むのが良いのは東村山」とか、もっと積極的に言っていた方が良かったかなと思います。バラエティ番組だから仕方ないと言えば仕方ないが、駅がたくさんあるとか、保育施設や幼稚園もいっぱいある、小学校も13町で15校ある、中学校は公立が7校、私立が3校、高校は都立が2校、私立が3校というように、非常に文教的なところが良いですよ、ということもお伝えいただければなと。それと多摩湖の堤防で夕陽を見ると左側に富士山が綺麗に見えるんですよ。せっかく多摩湖の堤防のことが出たので、そういうことも言っていた良かったと思いました。

あと昨年タウンミーティングに参加させていただいた時に、「東村山出身のプロサッカー選手がたくさんいますよ」というご案内をさせていただきました。それが結果的にそれぞれの所属チームの承諾を得て動画をいただいて、その動画をまとめて体育協会のホームページにアップされて、「コロナでたくさんの人たちが困っている中でがんばっていこう」という励ましのメッセージになりました。市長さんにお話ししたからということではないのですけれども、この場を借りて市役所の方にも御礼を申し上げたいと思います。

◎ 市長回答 ◎

先々週、日テレのバラエティ番組に出演依頼がございまして、私は市役所でVTRを撮って出たのですが、相当長くしゃべって東村山のPRをしたのですけれどもだいぶカットされて「東村山の果物が美味しいです」というところだけしか取り上げていただけなかったのです。「ぜひスタジオにも職員の方を派遣して欲しい」ということで、当時のシティセールス課長が日テレのスタジオにお邪魔して、現場でも相当いろいろ話はしたようですが、やはり面白いように編集されてどうも堤防だけクローズアップされた感じがあるので、そこは若干、番組的な面白さを追求されていたのかなと受け止めています。確かにおっしゃられるように東村山は国宝があったり重要文化財があったり、文教地域的な部分とか他にもいろいろと紹介すべき魅力的な部分もあったのではないかと思います。

結構スポーツ選手が輩出されているということについては申し上げて、その部分は取り上げていただけたので良かったかなと思います。ただ、サッカー選手までは名前が出なかったので、今後こういう番組に出させていただくことがありましたら、他の魅力につきましても十分取り上げていただけるように努力していきたいと考えております。

それから以前Sさんから「東村山から結構プロサッカー選手が輩出されて活躍している」というお話をご紹介いただきました。東村山出身のスポーツ選手は、サッカーだけでなくバスケットであったり、先日のオリンピック冬季競技大会ではアイスホッケーの床姉妹も活躍されたりということなので、そういった方々につきましてもできるだけ機会を捉えて市民の皆さまにPRさせていただいたり、機会があれば東村山にお越しいただいて、子どもたちと交流しながらスポーツの指導等もしていただけるように、これから努めていきたいと考えております。

◎ 市民スポーツ課より ◎

引き続き、東村山市出身のスポーツ選手の情報をSNS等で発信することや、スポーツ指導等を通じた交流の機会を創出することによって、スポーツの存在を身近に感じていただき、市全体でスポーツを盛り上げていきたいと考えています。

◆道路に越境した樹木等の管理について

(諏訪町 Sさん)

敷地から飛び出ている木が防犯街路灯や信号、道路標識とか防犯カメラ等を遮っているところが結構随所に見受けられる。なかなか個人対個人では折衝できないので、市の方で地図か投稿ポストみたいなものを用意していただいて、気が付いた人が「ここは見えない」とそこに出すと市の方で「そういう要望が出ているから木を切ってもらえませんか」というようなことができれば、もう少し運転しやすいような防犯カメラが機能を果たすような環境を整えると良いかなと思うので、ご提案したいと思います。

◎ 市長回答 ◎

庭木等で信号機あるいは標識等を遮っているケースについてのお話をいただきました。現状でも市の方に結構「ご近所でこういうケースがあるので、何とかならないか」という

お問い合わせ等はいただいております、そういうご連絡をいただくと道路河川課の職員が現場を確認しています。今の市役所の連絡手段としてはお電話で道路河川課に言っていただくか、市長へのEメール等でも結構でございますし、やはり場所を特定していただかないとなかなか対応ができないものですから、ご連絡をいただいて諏訪町の何丁目何番地とか言っていただければ、市の方はどなたから連絡があったとは申し上げませんが「交通に支障があるので切っただけでないか」というお願いはさせていただきます。

警察署の方に連絡があるケースもあって、警察の方で対応いただいている場合もありますが、市の方にご連絡いただければ対応させていただきたいと考えております。

ただ、勝手に市の方で切れないので、なかなかご協力いただけないケースもまれにあって、そういう時にはできるだけ何度かお願いをさせていただきます。こういうことはやっているところでございます。

具体的にというお話ですけれども、そこが何丁目何番地かわからないことがあって、地図があれば伝えやすいと思います。 (諏訪町 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

道路関係等につきましては、例えば沿道の樹木の繁茂の問題もあつたり道路に穴が開いていたり、ひび割れがひどいとかカーブミラーの向きがおかしいんじゃないとか、そういうことについてご意見を地図に落として情報提供いただく、あるいはご意見をいただくようなアプリを使っている自治体もだんだん増えてきています。東村山市で導入するというようなことはまだ決めておりませんが、今後そういったことも考えていく必要があるかというようには思います。ただ、やはり運用していくとなるとどうしてもそれなりにお金もかかることとなりますので、現状、市の方ではお電話と市長への手紙、あるいはEメールでのご連絡をいただく、と。住所がわからない場合は目印になるようなものを言っていただくだけでも、市の方である程度対応はできるかと考えております。

◎ 道路河川課より ◎

市道への越境により、道路標識等の確認や通行に支障が生じていることが確認された際には、所有者に支障枝の剪定指導を行っています。

空き家の場合を除き、おおむね対応いただいているところです。

また、空き家の場合には、都市計画・住宅課と連携しながら対応に当たっています。

◆農地の保全を

(秋津町 Wさん)

東村山に住んで20年ぐらいになりますが、良いところは農家がいっぱいあったところ。ただし最近、相続の関係で農地がどんどん減っているんですね。東村山市は農業に結構力を入れているという話で、生産緑地は固定資産税が軽減されているという話も聞いていて良いなと思っていたんですけども、最近農地がどんどん減ってきて、東村山市の良さが減ってきているなというところが実感です。これは市のせいなのかかわからないですけども、市民の方一人ひとりが感じていることかと思っています。

◎ 市長回答 ◎

農家が減っているということにつきましては、私どもとしても非常に深刻に受け止めているところです。やはり東村山の大きな魅力は緑や農地が身近なところにある、新鮮で安全で美味しい野菜や果物が比較的入手しやすいということも大きな魅力のポイントで、先ほどのバラエティ番組でも私が申し上げたところでございます。

ただ、農地が減っている大きな要因というのはやはり相続で、農家の方々が相続税の支払いをするために農地を含めてご自身の土地を売却して相続税の支払いをしなければならないという税制上の大きな問題が横たわっているということが1つだと思います。

あと先ほどおっしゃっておられた生産緑地制度というのがあって、生産緑地に指定されている農地につきましては宅地並みではなくて固定資産税もだいぶ軽減されるかたちで、都市農家の場合は何とか営農を継続している状況があるのですが、とは言え、市内の農家さんは耕地面積がわりと狭い方が多くて農業所得だけではなかなか生計が成り立たないということがあって、積極的に農家をやっている生活上の理由で駐車場等を持っていたりということと、そういう生産緑地以外の土地を多くお持ちになるとどうしても相続税も上がってしまうという問題がありまして、相続がかかると売却されてしまうというケースが残念ながらあります。

ただ、生産緑地制度につきましても大きな制度改革が行われて、今までは一団の農地面積が500平方メートルだったのが、300平方メートルまで指定要件が緩和されています。それから以前は生産緑地では貸し借り等ができなかったのですが、それも今はできるような制度改革があったので、農地を買うとなると一度にお金がかかってしまうので難しいのですが、借りながらでも農業を続けたいという方がいらっしゃれば農協さんとも連携しながら斡旋をして、市としてもなんとか売却を防ぎながら市内での農業を継続できるようなことを考えていきたいと思っておりますし、積極的に農業をやろうとされている方が例えばビニールハウスをつくる等いろいろな投資をする場合には東京都と市の補助制度がございます。そうした面での生産設備の増強等の支援を行わせていただいている状況でございます。

できるだけ市内の農業者の皆さまにはこれからも続けていただけるように、市としても支援をしてまいりたいと考えております。

◎ 産業振興課より ◎

人口の減少や高齢化等により、全国的に農業者の高齢化や担い手不足による農地の減少が進んでいます。一方で市街地にある農地には、農作物の供給のみでなく、豊かな景観や交流の場の創出、防災機能など都市を高める機能を有しており、引き続き農地保全のための投資にかかる補助等による支援や都市農地保全の意識啓発により農地の多面的価値を高める取り組みを行ってまいりたいと考えております。

◆健康寿命延伸の取り組みについて

(諏訪町 Sさん)

男性の健康寿命が72歳で平均寿命が約81歳という統計があって、まもなく80歳になりますがもう少し長生きしたいと思っています。市の健康増進課の方でいろいろと健康に関する講座を開催していて、出させてもらっています。あとスポーツセンターの運動に関する講座にも極力申し込んでいます。先日、テレビ番組でフレイル予防ということで、健康な人が病気になってだんだん介護状態に入る中間の位置で努力すれば少しでも介護状態になるのを遅らせることができるということで、西東京市の取り組みを紹介していたが、そういうことをやっているところが全国で80ヶ所あります、と。多摩地域では西東京市と国立市と東村山市ということで、東村山が入っていてすごいなと思いました。どういうことをするかということで、先日「オンライン健康講座」に私も参加しましたが、もっと内容の充実したものを盛んにやっていただいて、こういうのをもっと市民に広く知らせて、フレイル予防についてもっと力を入れていただければと思います。

◎ 市長回答 ◎

東村山市はかつて男女とも周辺市に比べて健康寿命が短かったのです。何をもち健康寿命とするかというのはいろいろなやり方があって、例えば介護保険の要支援状態になる、あるいは要介護状態になる年齢をもって健康寿命というような言い方をすることが多いのですが、当市の場合は初めて介護保険を受ける年齢が周辺市に比べると半年から1年弱ぐらい早いということがございまして、この間、市としても健康寿命を延ばす様々な取り組みをかなり積極的に進めてきました。

健康寿命やフレイル予防という点で何が重要かという、まずは食事、それから適度な運動、そして社会参加と言われていました。

東村山市ではこれまで社会参加と運動にはかなり力を入れて、市民の皆さまにも自主的に取り組みを続けていただいております。例えばふれあいセンターで福祉協力員さん等を中心に定期的集まって体操をすとか、恐らく諏訪町でもそういう活動をしてくださっている団体があるというように承知しております。

それに加えてこの間なかなか食事面での取り組みができなかったもので、先ほどおっしゃっておられたテレビ番組で紹介された西東京市、国立市と東村山市がやっているのは、東大の飯島先生という方の指導のもと、会食をして食事の指導を含めてやるという取り組みをコロナが流行る直前に当市では始めたところです。これはモデル事業的に萩山町5丁目の久米川駅東住宅を中心に独居の方にお集まりいただいて、皆で会食をしていただいて、栄養士の方が日々どういうものを召し上がっているかを確認しながら「こういうものを召し上がってください」とか「もう少しお肉を食べてください」というような指導をすることで良質な食事をとっていただくという取り組みを進めてきたところでございます。

しかしながらコロナで会食等は一切できない状態でございますので、現在、東村山市では食事面でのフレイル予防の取り組みにつきましては中止をしている状態でございます。

Sさんが参加された「オンライン健康講座」というのはまた別で、これは東京都の研究所の指導で民間の事業者さんと試験的に行わせていただいたところでございます。これもコロナで大勢が集まって皆さんで会話をしたり体操したり、あるいは対面式で講座を行うことが感染防止の観点から非常に難しいということから、オンライン形式で何らかの取組みができないかということで試行的に行わせていただいたところでございます。

今後、東大の飯島先生のご指導のもと行っております食事面を含めたフレイル予防の取組みにつきましては、コロナの感染状況を見ながらどこかのタイミングで再開をして、これらのモデル事業のいろいろなデータ・エビデンスをとって、できるだけ感染防止に努めながら全市的に展開ができればと考えております。

オンラインの健康講座につきましても、今回の事業を検証しながら、今後また有効な健康講座の展開をできるだけ多くの市民の方にご参加いただけるように努めていきたいと考えておりますので、また機会があればご参加をいただければと考えております。

◎ 健康増進課より ◎

令和2年度及び3年度の元気アップ食堂は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催延期をせざるを得ない状況でございました。令和4年度につきましては、感染症対策を講じながら開催できるよう、関係者と調整しているところでございます。

「オンライン体操教室及びオンライン講座実証事業」につきましては、高齢者の健康寿命の延伸に資する運動プログラムの構築及び検証を目的として、一般社団法人健康寿命延伸協会をはじめとする複数機関と共催にて令和4年1月から3月にかけて試験開催いたしました。なお、現在、本事業の効果検証等を行っているところでございます。

いずれにしましても、今後、高齢者が増えていくことを鑑み、市として健康・フレイル対策に更に力を入れてまいります。

◆市内にPCR検査が受けられる場を

(秋津町 Wさん)

先日テレビで東京都知事が「東京都内にPCR検査を無料で受けられる場所が88ヶ所ある」と言っていて、受けたいと思ったがインターネットでどこを見たら良いのかわからず、小平の保健所に電話をかけたらず全然役に立たなくて、府中の保健所に電話をかけたらず親切に教えてくれました。ただし、健康な人だけと。健康な人だったら大手薬局3ヶ所でPCR検査を受けられる、と。私は濃厚接触者として受けたいと言ったら断られたので、健康だと偽らないと受けられないのかなと思いました。東京都の無料のPCR検査を東村山市でも展開してくれるような予算取りをやって欲しいと思います。私はずっと入社しているんですけども、感染したことがないんです。ワクチンも1回も打っていません。だから検査ぐらいはやりたいと思っています。

◎ 市長回答 ◎

無料のPCR検査は東京都と大手薬局で行っていたのですが、私どもの方にもあまり情報がなくて、どういう方がやられているのかというのは東京都のマスコミ報道で承知したとい

うような状況で、当初お問い合わせに対してもなかなか適切に対応できなかった部分があります。健康な方というのは、恐らく発熱していない、要するにコロナを疑われるような症状がない方に限定したと聞いておりますので、何らかの理由でワクチン接種をしていなくて、発熱やコロナと思われるような症状がない方でPCR検査を希望される方に対して行ったと聞いております。今後もし東京都と協議する機会があれば、ぜひ東村山市内でもできるように求めていきたいと考えております。

あとは私の立場からすると、まだ1・2回目のワクチン接種も行っておりますので、できれば接種していただければありがたいと考えております。

◎ 健康増進課より ◎

東村山市では、清瀬市と共同でPCR検査センターを設置しておりましたが、抗原検査、PCR検査を受診できる機関が増えたこともあり、この7月から一時休止をしております。

また、東京都の「PCR等検査無料化事業」は8月31日まで期間延長されておりますが、検査にあたっては一定の条件がありますので、都のホームページ等でご確認ください。

◆コロナ対策の見える化を

(久米川町 Kさん)

東村山の市庁舎とワクチン接種会場、今日の会場も換気をしているのかが見えません。全然見える化がされていません。今日だってコロナウイルスがあるかないかわかりません。用事があった行って時に換気できていないことが確認できたので、担当者に表に出てきていただいて「なぜ見える化をしないのでしょうか」と話し合いました。ワクチン接種会場になっているいきいきプラザも密になっていて、換気もしていません。あんな密のところ押し込む方が感覚としていかなもののでしょうか。市のホームページを見ると1つの課から複数名のコロナ感染者が出ています。私から見たらクラスターです。(市役所)行きたくても行けない状況です。市民が安全に行けるようにCO2モニターを置くとか、見える化に関してご検討をお願いします。

◎ 市長回答 ◎

公共施設の換気についてご指摘をいただきました。市役所につきましては定期的とまでは言えないのですがCO2濃度等を測定したりして、必要なところに対してはサーキュレーターをつける等の対応をしているところでございます。

ご心配があってご来庁も控えるというようなことですので、見える化というご指摘を踏まえて、今後、適切な換気に努めながら、市民の皆さまに市役所が安全だということをどのように見えるようにしていくか、検討させていただきたいと考えております。

◎ 総務課より ◎

市庁舎等におきましては、定期的な測定では、求められる必要換気量(一人当たり毎時約30m³)を満たしております。

また、感染症対策といたしましても、市役所では、各階にCO2濃度測定器や、必要なと

ころに対してはサーキュレーター（扇風機）を設置する等の対応をしながら、各入口の自動ドアの開放や、庁内放送による1日2回の窓の開放を促し、職員が定期的に窓を開け換気を行っております。

◆スポーツ団体の高齢化対策を

（恩多町 Sさん）

体育協会に相談しなければいけないことですし、相談はしていますけれども、スポーツ団体の少子化と高齢化という問題が出てきて、今年度2つの団体が体育協会から退会されました。今、少年野球も2つのチームが合併して練習したり、ミニバスケットも4人しかいないチームが出たりとか、それはそれぞれの団体なり体育協会が考えなくちゃいけないことなんでしょうけれども、市としても体育協会を通じながらいろいろなサポートをお願いしたいと思います。

◎ 市長回答 ◎

スポーツ団体の課題についてご意見をいただきました。

実はこのタウンミーティングに来る前に少年野球チームの今年度の入団式に参加してきました、それは硬式野球チームなので東村山市にお住まいのお子さんだけではなくて市外の方もいらっしゃるのでも今年も20名近いお子さんが入団されたそうなのですが、少年野球連盟の会長さんが来賓としてお見えになっていて、やはり母体となる小学生のチームはこの自治体でもかなり数も減っていて練習もままならないような状況になっているというようにお話をしていたところでございます。ピーク時には市内に30以上のチームがあったそうですけれども、今は20いくつで10チーム以上減ったというようにお話でした。

少子化の影響、それから子どもたちのスポーツに対する意識が必ずしも野球やサッカーだけでなく他のことにも関心がうつっていたり、いろいろな多様化もあったりとかで、なかなかこれまでのようなスポーツチームの維持ができないということがあるようですし、それから指導者の方々も高齢化しているというのはどの団体も同じ問題を抱えています。

これは日本全国どこも同じような課題があるのだと思いますので、なかなか解決策というのは見出しづらいところがありますが、昨年度スポーツ施設のあり方を審議会で議論していただき、先日答申をいただきましたが、スポーツ施設の老朽化の対応などのほかに、スポーツを支える人材の育成等についても重要であると提言いただきましたので、体育協会を含め団体のご意見を聞かせていただきながら丁寧に進めていきたいと考えております。

◎ 市民スポーツ課より ◎

少子化、高齢化が今後も進むことが予測される中で、従来通りのやり方では難しい面が出てきていることから、時代に即した取り組みを体育協会とも意見交換しながら検討し、より多くのかたがスポーツに携わることができる環境を作っていきたいと考えています。

◆コロナ禍におけるイベント開催について

(恩多町 Yさん)

コロナがまだ流行っていますけれども、できるだけイベントは開催できたら良いと思います。

◎ 市長回答 ◎

市としましても様々な活動ができない状態で、やはり市民の皆さま同士が触れ合う機会が失われたり、あるいは市民の皆さまと我々行政が接点を持つ場面が少なくなったりしていることに私自身が非常に危機感を感じています。コロナの状況次第ではあるのですが、今年度につきましては屋外の場合には消毒や検温等、できる範囲での感染対策を講じつつ、今後イベントやあるいは災害訓練等を行っていく方向で、今、準備を進めています。

来月は大岱小学校で水防訓練を開催する予定にしておりますし、例年行わせていただいていた菖蒲まつりにつきましても形態はかなり縮小するかたちになるかと思いますが、現時点では緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ない限り今年度は開催する方向で現状、準備をさせていただいているところでございます。

それから今年も行えたのですけれども、例えば1月に行っている消防団の出初式や成人式は残念ながら昨年中止になってしましまして、大変申し訳なかつたのですけれども、今後も感染状況を見ながら、市の行事としては秋の産業まつりあるいは総合震災訓練等、コロナ禍でもできることを考えながらできる範囲で進めていきたいと考えております。

～ 暮らしの質の向上 ～ について

◆コミュニティ開放について

(恩多町 Sさん)

東村山で校庭開放や体育館開放をたくさんやられていますけれども、とても多くの方が利用されている。私たちも利用させていただいて、いろいろなところで公共施設の借地でお金がかかっているという話がたくさん出ていますけれども、今ある施設を有効利用していただくと良いかなと思っております。コミュニティ開放は地域の人たちが地域で取り仕切っているというかたちですから、それがすごく良いかなと思ってます。特に昨年度からコミュニティ開放に登録するにはその校区に住んでいる人が代表でなければいけないというルールに改まりましたので、より地域との密着性が出てきたと思います。そういう意味ではすごく良いスタイルができてきているので、それを継続していただければと思います。

◎ 市長回答 ◎

コミュニティ開放は地域にお住まいの方に学校を有効に活用させていただいて、お休みの日にはそこでスポーツ等をしていただきたいというように考えています。

ただ、コロナ禍で一時停止させていただいていた部分もありますし、再開してもいろいろとまだ不自由なかたちになっているということにつきましては、学校側の立場もごさいますことからご理解をいただければと思います。

現場でご指導いただいている指導者の皆さまにも、感染対策を施しながら子どもたちの指導にあたっていただいていることには、深く感謝申し上げます。

コロナの状況にもよりますけれども、今後もできるだけ今かけている制限を段階的に緩和しながら、子供たちが伸び伸びと、また、大人の皆さまも地域の小・中学校でスポーツ等に親しんでいただけるようにしてまいりたいと考えております。

◎ 市民スポーツ課より ◎

今後も地域の皆さまにご協力をいただきながら、既存の施設を地域で活用し、より多くのかたがスポーツに携わることができる環境を作っていきたいと考えています。

◆防犯街路灯について

(久米川町 Fさん)

突き当たりが畑で行き止まりになっていた私道に防犯街路灯が立っているのですが、市に「奥の方が危ないので防犯街路灯をつけてください」と住民の方が言ったら、「ここは私道なのでつけられません。自治会に入っていれば補助金が1/2出るので、自治会に言ってください。」という話だったんです。それで私どもは自治会に入っている人たちの私道の安全性を考えて付けた方が良くと思って自治会の方から費用を出して付けたら、その1~2年後にその私道が抜けたんです。そしたら今度は市が「私道を市に譲地しろ。市の方に移管しろ。」ということになったんです。基本的には市道の方が良いと思いますので、近隣の住民もそれに同意したのですが、今度は「防犯街路灯も移管しろ」と言うんです。自治会が負担して防犯街路灯を設置して、最終的にそれを1~2年後には市の方に移管しろ、と。なんだそれはと思ったんですね。ちょっとすんなり受け入れることはできなかった。現実はそのだから仕方ないのしょうけれども、私道についている防犯街路灯と市道についている防犯街路灯に何の差があるんだ、防犯に私道も市道もないだろう、と。だったらそんな細かいことを言わないで付けて欲しい。ましてやこの土地は開発行為をやった時の接続道路のために取ってあった畑だと思うんです。例えばここに都市計画道路がかかっていたら私道は共有持ち分とかいろいろなかたちをとっていますので担保もくっついていたりして、用地買収するのも非常に大変なんです。だったらこういう将来抜けるような道路なんかは、市の方で認可をかけておいて欲しいと私は思ったのですが、市長さんはどうでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

お聞きするとそういうケースではごもっともかなというように思いますが、ただ、今の市のルールですとどうしても公道から公道に抜けている4m以上の道路でないと譲地を受けられないということになっていますので、将来どこかで開発行為が行われれば抜ける可能性があるということがあったとしても、現状の当市の制度・ルールでは譲地を受けて公道認定す

るというのはなかなか難しいかと考えております。

ただ、久米川町のように5年前に行き止まり道路だったのが、相続で隣の農地や畑が開発行為になって抜けるようになってきているケースというのもあるのだと思います。ですので今後どこまでルール化できるかは別としても、今日お話しいただいた部分は課題として受け止めさせていただいて、現状の私道について今後、開発に伴って将来抜ける可能性があるところについてどうするかということは検討したいと考えております。

かなり難しい問題だとは思いますが、確かに自治会や住民の皆さまの立場からすると、「前の年に自分たちで負担して防犯街路灯を立てておいて、通りが抜けたら市に無料で出せというのはおかしいだろう」と言われれば、心情的にはその通りだというのはよくわかりますので、その辺についてご理解・ご納得いただけるようなことがどこまでできるか、検討させていただきたいと考えております。

～ その他 ～

◆志村けんの銅像について

(諏訪町 Kさん)

以前タウンミーティングで「志村けんの銅像を建てるというのは何の根拠に基づいているのですか」と質問したところ、市長から「議会の了承を得ていて、市の総意である」と聞いたので、それを受けて市議会の議事録を調べましたが、市議会で志村けんの銅像について議論されたのは令和2年6月定例会でのやり取りが記録として残っております。そこで議論されたのは「今のさくら通りをだいじょうぶだ～通りにしたらどうか」とか「志村けんのまち東村山駅という名前に変えたらいいんじゃないか」とか「記念館をつくったらいいんじゃないか」とか、そういう提案に対してやり取りがあって、その後6月末に名誉市民に任命するという記録は残っています。それについて異論はないのですが、「志村けんの銅像はあくまでも民間のクラウドファンディングで集まったものであって、それを東村山市として公務としてやる場合は議会を通さなければなからうか」と聞いたら「その通りですね」と伺ったのですが、議事録を調べてもあの銅像を受け取るという議論をされた形跡がないんですね。設置場所の議論もなく東村山駅前前に決定されたんですね。以前のタウンミーティングで他の設置場所を提案したのに、そういう議論をされた形跡が全くない。どういう意思決定で東村山市の公務として東村山駅前という象徴的な場所に設置したのか、いつの議会で決定されたのか教えていただきたい。

◎ 市長回答 ◎

銅像の件につきましてちょっとKさんのご認識が私と違うところがあるのか、「銅像を受け取るにあたって市議会の承認を受けている」という発言をタウンミーティングでしたことはございません。「建てないようにするにはどうするんだ」というご意見がありましたので、「Kさんが市議会に銅像を建てるなという陳情なり請願を出していただいて、議会で採択されれば私としても受け取ることができない可能性はあります」と言った記憶はあるのですけれど

も、「議会の承認を得ているので建てます」と言った記憶はありません。

恐らくそのことが混同されているのか、あるいは志村けんさんを名誉市民にするというのは議会の議決が必要なことになるので、その議決はいただいています、そのことと混同されているのではないかと思いますので、そこは申し上げておきたいと思っています。

市議会では銅像の受取り、寄付、それから設置場所等について議論されたことはご指摘の通りございません。これは議会の議決の対象にはならないと考えておりますので、基本的には寄贈者の意向に沿って、市として設置場所を決定しました。最終的に誰が決定したのかと言われれば、市長である私が決定をさせていただいたということになります。

志村けんを名誉市民に任命しますというのを議会で決定したのは確認しました。ただし、銅像をどこにどのように建てるか建てないか、というのは市議会を通していないという話があったので、これは市長の一存でやりましたということですが、私は建てる前に市長への手紙やタウンミーティングで「建てないで」と何度も言ってきました。私は陳情し続けているのですが、結局、銅像を建てるとう市議会を通していないということは民意を通していないと言えるのではなかろうか、と。私は以前のタウンミーティングで「市民にアンケートを取った方が良いのではないかと提案したら、市長から「市議会で議員からの発議があればやるかもしれない」と聞いたんです。そうなるとうこのタウンミーティングというのは市民の声を聞くという趣旨でやられているのに、私の声を1回も聞いてもらったことがないんです。市長への手紙も書いてタウンミーティングでもしつこく言っていますが「市議会を通してください」と言われたので、これは市議会選挙に立候補して聞くしかなさうか、と。タウンミーティングはポーズだけでやっても意味がないんじゃないかと感じています。そもそもタウンミーティングというのは市長に賛成する意見とか、道路やカーブミラーに関する意見というのは「検討します」となるが、市長に反対する意見に関しては一切民意を聞いていないと私は思うんですね。アンケートは取らない、タウンミーティングに言ったところで市議会にきてとなると、民意が反映されるシステムが1つもないんです。市の中心的な公共のところなのに勝手に建てて除幕式も勝手に進めて、現在の市民の民意というのがあの銅像には何も反映されていない。建てるんだったら歴史館でも良いんじゃないか。そもそも東村山市ってなぜ志村けんしかないのか。世界的に有名な武満徹という音楽家でも良いんじゃないか。もっと文化的なところを押ししていかなければいけないんじゃないかと以前言ったことがあります。タウンミーティングの存在意義に関して市長さんのお答えをお願いします。

(諏訪町 Kさん)

◎ 市長回答 ◎

志村けんさんの銅像の件につきましては、Kさんには度々タウンミーティングにお越しいただいて、直接あるいは市長への手紙、Eメール等でも何度となくご質問いただきました。それにつきまして、私は基本的には設置したいとその都度ずっと申し上げてきたとおりです。

どこで民意を聞いているんだということになります、設置したいという方々がクラウドファンディングを行って銅像をつくられて設置をしてくださいということでやって来たわけで、そこに賛成されるかたも一定いらっしゃいますし、Kさんのように反対されるかたもいらっしゃるといように承知をしています。先ほど来申し上げているように、志村けんさんの銅像を公費で建てるといことになれば当然予算措置をしなければならないので議会の議決の対象になりますけれども、寄付を受け入れてそれをどこに設置するかということにつきましては市長の権限でできる範囲だと私としては認識しておりますので、私としてはトータルとして、完成された志村けんさんの銅像を市として受け入れて、やはり志村けんさんの木の近くに設置するのが一番妥当だというような判断をさせていただいた次第でございます。

繰り返しになりますが、私にではなく議会に正式に「志村けんさんの銅像の寄贈を市では受けない、あるいは受けても設置場所は駅前ではないところに設置するように」という請願書なり陳情書を文書として提出していただければ市議会ですることについて議論がされて、陳情が採択されれば否かという議論があったと思いますが、事実上それは議会の方には提出がなく、私の方にはご意見いただいたり市長への手紙等でご指摘をいただいたりしてきましたが、それらについては私の考えは常に申し上げているとおりで変わるものではなかったわけで、先ほど申し上げたようにKさんが提案した陳情書がもし議会で採択されたならば私としても駅前に建立することはできないという判断になるだろうということを申し上げたつもりです。

それから武満徹さんや他の文化的なところも押した方が良いというのはおっしゃる通りだと思っています。一般的には武満徹さんが東村山市に住んでおられたということを知っていらっしゃる方は少ないのですけれども、日本の現代音楽では大家ですし、文化勲章を取られた詩人の草野心平さんとか、多くの文化人もお住まいになっていたというようなことも多くの市民の皆さまに知っていただいたうえで、東村山のポイントとしてそういうことがPRできるようにしたいですし、文化的な市民活動の支援等も行っていかなければならないと考えております。

それとタウンミーティングは意味がないんじゃないかということですが、これは何事にも賛成・反対の方々はいらっしゃって、反対の市民の方が直接市長に物申すという場面はあって然るべきだということに思います。私も何でもかんでも反対の方のご意見に耳を貸さないわけではありませぬので、ことと場合によってはおっしゃられるとおりで市としてその事業を断念するということもないとはい切れませぬし、常に市民の皆さまと何らかのかたちでキャッチボールするということが民主主義の根幹に関わることだと思っておりますので、そういう意味ではこのタウンミーティングという場は私としては非常に貴重な場だと考えております。ただ、反対されるかたが「いくら言っても市長は言うことを聞かないからやっても意味がない」と思われるのは致し方ないかと思っております。

◆タウンミーティングについて

(久米川町 Kさん)

前回のタウンミーティングの記録集を読んだのですが、「何々しましょうかと考えています」とかいうのでその後のフォローアップがされていないのですが、今日、前回の記録集の内容について簡単でいいので、市長にどうなったのか報告していただけないでしょうか。それがなければただ単にやり逃げで、パフォーマンスにしかならないと思います。どうお考えか、教えてください。

◎ 市長回答 ◎

前回のタウンミーティングの内容を振り返って、今ここで話しするという事は考えておりません。ただ、ある程度まとまった時に「こういう意見をいただいてこう回答したのが、後日こういうかたちで実現されました」とか、あるいは「まだ実現されていません」というレビューは何年かに一度やっておりますので、またその機会に皆さまにお示しをしたいと考えております。

◆タウンミーティングについて（その2）

(秋津町 Wさん)

タウンミーティングは良いことだが、どうも聞いていると「改善して欲しい」とか「こういう要望がある」という市民の不満が強くて、それを「全部議会を通してくれた方がやりやすい」というなら議員を呼んでください。

◎ 市長回答 ◎

先ほど「議会を通してくれ」と言ったのは、Kさんから出ているお話は「志村けんさんの銅像を駅前に建てるな」という話で、「私はそこに建てます」という立場で、まさに対立した関係になっていて、私は「いくらKさんから反対されても私の権限で設置しますよ」と申し上げてきて既に設置させていただいて、それについてまだKさんは異を唱えていらっしゃるわけです。私をどうしても止めるという場合には議会が設置に反対すればいくら市長だって議会のご意見は聞かざるを得ないと言っているわけです。

換気の問題だとかカーブミラーの件等は改善を求める話で賛成・反対を求める話ではないので、お聞きして市として課題だと受け止めたところがありますので、そこにつきましては改善できる範囲は今後持ち帰って改善を図っていきたいと考えております。

ですが、さっきから言っているように私の考えと発言者の考えが真っ向から対立してしまった場合に、もし私を止めようとするなら次の市長選挙で落とすか、あるいは議会に請願を出してということをお願いしているのです。

議員を呼んでというお話ですが、議会は議会で議会報告会というのを毎定例会終了後にやっています。今回の議会でどういう議題が出てどういう審議をしてどういう結論になったかという報告をされています。そこに行ってください。議会に対してご意見があればそちらでお話いただければと思っております。

タウンミーティングは市長さんの考えとか今後の市の計画とか、市長さんの哲学とかが聞けて、そういうやり取りができれば良いなと思ったが、皆さんの意見を聞いていると「こうして欲しい」とか「ああして欲しい」が多いようですが、言えば改善できることがあるのですか。
(秋津町 Wさん)

◎ 市長回答 ◎

先ほどもご発言ありましたように、ここで出たご意見についてどういう改善をしたかというのを次の回にレビューするというのはなかなかできないのですけれども、今までも何年かまとめて「こういうご意見をいただいたことについてはこういうかたちで改善をしました」というようなレビューはしております、例えば100回記念の時にそれまでにいただいたご意見を総ざらいして、どれぐらい改善・実施したかというのをまとめて、いただいたご意見の大体7割ぐらいは何らかの対応をしたということ承知しました。今後はタイミングを見ながらやっていきたいと思えます。

ただ、職員もまとめる作業が非常に手間がかかりますので、そこも考えながら、今日いただいたご意見をどのように庁内的に議論して、どういうかたちで改善を図ったのか、あるいは図ってないのかということにつきましては、今後できるだけ見える化を進めていければと考えております。

【市長まとめ】

本日はそもそも論としてタウンミーティングとは何ぞや的なお話をいただいたり、あるいはここで出たご意見をどのように市政に反映させているのか等のご意見をいただきました。

せっかくわざわざ休みの日にご参加いただきましたので、市長に直接ご意見いただいたものについて今後どのようにしたのかというのは然るべき時期にできるだけわかるようなかたちにさせていただきたいと考えておりますし、いただいたご意見について改善を求めるものについてはできるだけご意向に沿って改善の検討を速やかにして、すぐに結論を出せるものと出せないものがありますけれども、なんとか方向性を定められるように努力したいと考えております。

私と真っ向に意見が違ってしまっている場合は、諦めていただくか、別の手立てを考えていただくしかないので、銅像の件については大変申し訳ございませんがもう設置をしてしまったので、あれをうまく活かして、これからの東村山市の活性化を考えていければと考えておりますので、ぜひご理解をいただければと思います。

長時間お付き合いをいただきまして、ありがとうございました。

市民と市長の対話集会
第148回
タウンミーティング記録集

発行 令和4年7月
東村山市 市民部 市民協働課
東京都東村山市本町1丁目2番地3
TEL 042(393)5111